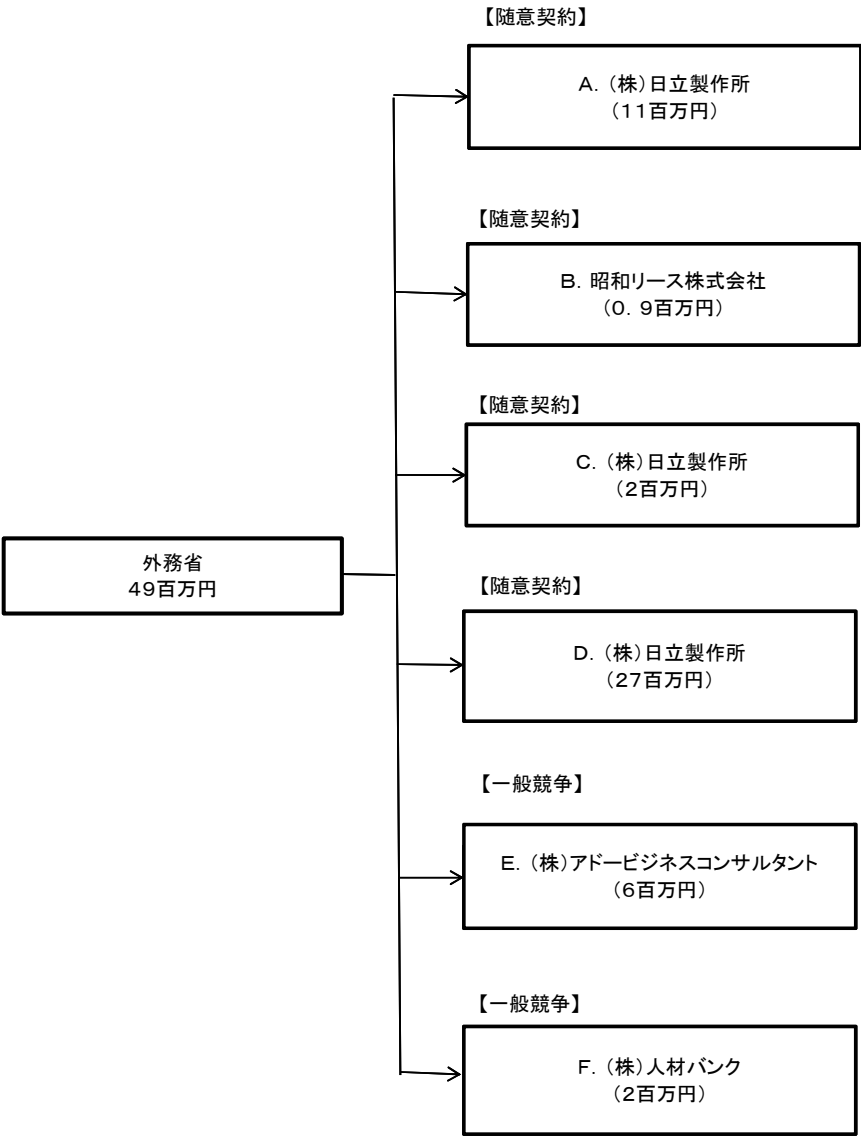


平成24年行政事業レビューシート (外務省)									
事業名	経済協力情報管理システム			担当部署	国際協力局			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	—			担当課室	開発協力企画室			室長 横田 敬一	
会計区分	一般会計			施策名	VI-1 経済協力				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第1項第1号(ハ)、24号			関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	DACへの我が国のODA関連統計の提出を含む、経済協力関係の情報管理に伴うOA機器によるシステム運用								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	経済協力及びその事務の多様化・複雑化への対応策としてOA機器を利用した、情報の収集・管理、関連情報の有効活用、関連機関との情報の相互利用、情報伝達の効率化等を行っていくための情報管理体制整備経費								
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		補正予算	66	59	51	52	49		
		繰越し等	—	—	—	—			
		計	66	59	51	52			
		執行額	51	55	49				
	執行率 (%)	77%	93%	96%					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	成果目標:経済協力情報管理システムの構築を通じ、国際的なODA統計の一部として報告するとともに、国内的に我が国のODAの実績を報告する。 成果実績:OECD・DAC事務局へのODA実績報告数			成果実績	回数	2回	2回	2回	2回
				達成度	%	100%	100%	100%	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	活動実績:DAC事務局に報告するための統計データ(今年度案件数:約37,000件、案件毎の調査項目:60項目)を収集・分析の上、同事務局に報告するとともに、図表等に加工の上、統計データとしてODA白書等各種資料に活用している。			活動実績 (当初見込み)	入力件数 (項目数)	32,897件 (60項目)	32,029件 (60項目)	39,445件 (60項目)	— ()
単位当たり コスト	1,242(円/件数)			算出根拠	執行額/件数にて算出				
平成24・25年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
	システム運用・保守	50	48						
	機材借料	2	1						
計	52	49							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	国際機関（OECD開発援助委員会（DAC））に提出する統計データの集計作業に必要不可欠であると共に、国民へのODAの啓蒙資料等各種資料作りに必要である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	利用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	業者選定に当たっては、価格面に加え、統計システムの維持管理のノウハウを有しているかどうか、審査を通じて様々な課題を課すことにより妥当な選定がなされるように努めている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	DAC事務局に我が国のODA実績を年2回定期的に報告すると共に、ODA統計データを各種資料に活用している。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	我が国の政府開発援助実績を把握し、公表資料を出力するシステムの開発・保守・運営するための経費として妥当なもの。また、データの収集・分析・資料作成に必要な経費である。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	事業見直しによる減 単価見直しによる減		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
縮減	経済協力統計システムについてメンテナンス契約単価の見直しによる減。サーバ保守経費の見直しによる減。		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号 平成22年行政事業レビュー 571 平成23年行政事業レビュー 551			

※平成23年度実績を記

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)



個別事業名：

費目・使途 （「資金の流れ」 においてブロッ クごとに最大の 金額が支出され ている者につい て記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載）	A. (株)日立製作所			E. (株)アドービジネスコンサルタント		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	稼働監視料	システム稼働維持・運営	11	人件費	ODA等各種資料統計作業	6
	計		11	計		6
	B. 昭和リース(株)			F. (株)アルファ設計		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
				人件費	ODA等各種資料統計作業	2
	計		0	計		2
	C. (株)日立製作所			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	保守料	プログラム改修・保守	2			
	計		2	計		0
	D. (株)日立製作所			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	保守料	システム改修・保守	27			
	計		27	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日立製作所	システム稼働維持・運営	11	随意契約	
2					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	昭和リース(株)	サーバ機器借料	0.9	随意契約	
2					

C.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日立製作所	プログラム改修・保守	2	随意契約	
2					

D.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日立製作所	システム改修・保守	27	随意契約	
2					

E.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)アドービジネスコンサルタント	ODA等各種資料等軽作業	6	1	99%
2					

F.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	人材バンク	ODA等各種資料等軽作業	2	5	85%
2					